スマイルタウン

人が好き 笑顔 がステキな街が好き

2018 9月号 第297号

社会教育センターは、市民のみなさんの“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する施設として、1969年に日野市と㈶社会教育協会が協定書に基づいて設置しました。
今月もセンターで生まれるたくさんの学びの様子をお届けします。

9月は『認知症を知る月間』

各種イベント、申込み受付中です！

みなさん、「認知症を知る月間」はご存知ですか!?

日野市が主催する公式事業で、「認知症について知り、理解を深めよう！」というコンセプトで様々な催しが開催されます。日野社会教育センターはここ2年ほど、運営事務局を受託し、プログラムの立案や運営にあたっています。

全国的に高齢化が進む日本と「認知症」はとても身近な話題です。日野市も例外ではありません。若年性認知症、認知症患者の家族という点も考えると、この話題は全ての人に関係します。「学んだことによって、他の人に影響を与えること」がテーマの社会教育という、私たちセンターの視点から市や関係機関と協力して実施運営にあたっています。

▲昨年のイベントの様子『みんなで健康元気体操！』

「認知症」については、ご高齢の方、認知症の方やそのご家族の関心が高い一方、若者世代や青少年世代の関心はさほど高くないようにも感じます。今年の認知症を知る月間は「予防」が大きなテーマです。実は認知症予防はすでに始まっています。「睡眠・食事・運動・コミュニティ」がキーワードです。これらがどう認知症予防と関連性があるのか。9月30日にはイオンモールで「楽しみながら学べる認知症予防」のイベントでひもときましょう！

9月27日には七生公会堂で、認知症の方を介護する方々や、今後の可能性を見据え学びたい方を対象に、医師による在宅介護に役立つ講座も開催されます。これらのイベントは全て参加費が無料です。

「まなぶことが安心につながる、まなぶことで正しく理解できる。」みんなで学ぶ『9月の認知症を知る月間』は、まもなくスタートです！

イメージカラーのオレンジを身に着けて、ぜひお出かけください。

（担当・寺田）

職員リレーコラム

日野社会教育センターの職員ってどんな人？
リレーコラムで自己紹介します。
今月は、勤続18年、副館長の
阿部 和広（あべかずひろ）です。

昨年4月より、副館長を務めている職員の阿部です。今回は職員紹介のスペースをいただいたタイミングで、最近世界から注目をうけている、ニュージーランドの幼児教育の視察に出かけてきましたので、私の活動報告とあわせて、紹介します。

私は、これまで、センターに入職後、青少年向けのアウトドア事業や、大人の方向けのアウトドア事業を担当してきており、その中でも、小学生を対象にした子ども会活動ぽけっとを、長く担当してきました。入職直後に一緒に野外活動をしていた当時小学生の子どもたちも、18年の時を経て今や20代、立派に成人していて、今は一人の大人として付き合える関係になっています。こういった、地域の一つの場所で、長く人との付き合いが継続できることも、日野社会教育センターの活動の魅力に感じています。

▲視察先幼稚園の園庭の様子

今回の視察では、ニュージーランドで20年ほど前から取り組まれている「テファリキ」という幼児の教育方針の実践について学んできました。「テファリキ」は、先住民マオリの言葉で「編んだ敷物」という意味があり、ここに、多様なバックグラウンドを持つ子供達が「誰もが乗ることのできる敷物」を象徴して、つけられたと言われています。内容は、「子供達の社会的・文化的な学び」、「様々な人々と子供達が築く関係」が重要視されています。

この内容が目指すところに、これまでセンターで取り組んできた、青少年活動の目指すところも、合致していることを視察してきました。幼少期にこれらを主眼に置いて活動することが、その後の多様な人間形成に重要なことを改めて確認できたところでした。

来年四月には、次の50年にむけ、さらなる飛躍をめざし、新館に移転します。これまでの実践を、さらに幅が広げられるように考えるいいきっかけとなった海外視察でした。

新館タイムズ

新館建設の「いま」をお届け

今年の夏は、毎日きびしい暑さが続く中、新館工事の方は、順調に進んできております。今まで、仮囲いがされていたため、建物の外観も大きさがわかる程度でしたが、現在は、仮囲いもはずれ、新館の外観もしっかりと見ることができるようになりました。そんな中、新館見学会を8月10日、18日の二日間で行い、老人会の方など、総勢10名が参加され、外観と室内を見学していただきました。エレベーターも設置してありますが、稼働前のため、階段で3階にあがってもらい、順番に研修室棟を見学していただきました。研修室内のしきりや、壁もついたので、研修室の広さもイメージしやすくなっています。全体として7割～8割が完成してきた状況で、今後も定期的な見学会を行う予定です。（副館長　阿部）

▼新館、外観が見られるようになりました

建設現場見学会

9月19日（水）
①12：00～
②15：00～

9月27日（木）
①12：00～
②15：00～

各回5名位で、20分程のご案内となります。事前にお問い合わせください。ご参加をお待ちしております。

ひと！

山本　徹（やまもととおる）さん

日野市立七ツ塚ファーマーズセンター

▲いつも笑顔の山本さん

数年前ご自身が病気を患った後、浅川の土手を散歩し始めたという山本さん。その時改めて日野の豊かな自然に気づき、自分もまたその一部だということを強く感じたそうです。

「日野の自然を、農業を守りたい」と日野市「農の学校」の受講生となり、天候と向き合いながら、ひたむきに一生懸命に真っ当に生きている、多くの農業者さんたちとの出会いから、**NPO法人めぐみ**を立ち上げました。山本さんが6年前から管理・運営をされている、日野市立七ツ塚ファーマーズセンターは、新鮮な野菜を購入できるお店としてはもちろん、農産物を活用したおいしいランチが味わえる食事処として、地域の人たちが気軽に集える多目的なコミュニティー施設として人気のスポットです。

どんなに忙しい時も、いつも笑顔の山本さん。山本さんの穏やかな笑顔が、日野市の農と人、人と地域を今日も緩やかに繋いでいきます。

（担当・山本）

10月14日（日）「暮らしのこと市」開催

3年前から、七ツ塚ファーマーズセンターにおいて、日野社会教育センターと共同で主催しているイベントで、野菜の販売や収穫体験、ワークショップや手づくり品の販売など、にぎやかなイベントとなっています。ぜひ遊びに来てください。

しせつからのたより

今月は　みなみだいらじどうかんぷらねっと

開催報告　星空観望会」七生中にて。

8月18日（土）夜、「七生中親父会・天文部」の全面バックアップと地元自治会のみなさんの協力により、「星空観望会」を行いました！

この「観望会」、日頃おまつりやキャンプでお世話になっている地元お父さんの「子どもたちに、本物の望遠鏡を使って月や星を見せたいんだよね～」という想いからスタートして、今回で3回目。

親父会メンバーの中にはJAXAやプラネタリウム関係の専門家もいらっしゃいます。だんだん協力者も増え、今回はなんと9台もの天体望遠鏡が会場の七生中学校校庭に勢ぞろいしました。猛暑がひと段落したさわやかな夜風のなか、好天に恵まれて、金星・木星・土星・火星・月などの天体が望遠鏡でくっきりと見えました。3回目ということで参加者が増え、子どもたちと保護者のみなさん、そして地域のみなさんも加わり、総勢100名以上が夏の夜空を見上げて楽しいひとときを過ごしました。（担当・藤田）

▲お星さま、見えたかな？

太極拳クラス優秀賞受賞！

6月14日に行われた「第8回全日本健身気功、太極拳練功大会」で、太極拳クラス会員の皆様が優秀賞を受賞しました。

おめでとうございます！

賛助会へのご協力　ありがとうございます

★年会費（順不同・敬称略 7/1～7/31）

①個人会員　1口　1,000
池上洋通　10口　相原美智子2口
藤井孝男　20口

②団体会員　1口　5,000円

※日野社会教育センターへの支援と事業の普及、開かれた運営と経営の安定をはかるため皆様のご加入をお願いします。

新館建設寄付者ご芳名　7/1～7/31ご寄付いただいた方

※都合によりお載せしていない方もおられます。

株式会社島田組　中村信義　村野米三
池田りの　田中茂登子　（順不同・敬称略）

おかげさまで2,000万円!!

現在の募金総額 7/31 現在
347名+募金箱
¥20,869,221－

【お知らせ】日野社会教育センターでは、冷房機の故障に伴い、今季は代替機による運転を行っております。ご利用の皆様には、お部屋の移動や、冷房機能・運転音等、ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

スマイルタウン発行：（公財）社会教育協会日野社会教育センター
発行責任者：館長　島崎 成利　〒191-0062 東京都日野市多摩平4-3
電話 042-582-3136　FAX 042-581-0647